

活動目標

地域活動の充実
子ども会活動への支援
専門部会活動の充実

わかくさ

第45号 平成25年3月15日 編集
大和市青少年指導員連絡協議会
広報部会
編集責任者：鈴木 勝雄
発行：大和市教育委員会
TEL K：046-260-5224
FAX k：046-261-4900



笑顔がいっぱい！ 青少年センターまつり



平成24年12月2日(日)に、第17回青少年センターまつりが開催されました。今回のキャッチフレーズは「青少年センターまつりに行ってワイルドにもりあがろうぜえ〜」です。今年は14団体がステージ発表、模擬店、ブース発表に参加して下さいました。中学生ボランティアもゲームコーナー(おばけやしき、イントロクイズ、射的、的当て)や「ウォーリーを探せ」の企画・運営をするほか、キャッチフレーズを考えたり、飾り付けをしてくれたりしました。近年で一番の盛り上がりだったそうです。約1,150名の方が来館され、いっぱい笑顔であふれた青少年センターまつりでした。

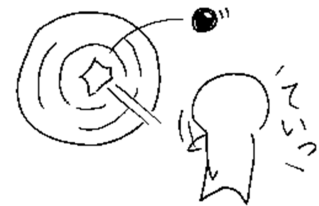


【おばけやしき】

長い行列ができるほどの人気。怖がって入るのを嫌がる子も…。

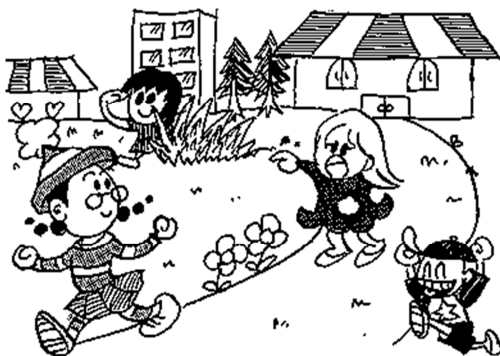
【イントロクイズ】

クイズの間には一発芸で子どもたちを楽しませていました。



【的当て・射的】

高得点者はボードに名前をのせることができるために何度も並び子がいました。小さな子もチャレンジしていました。



【ウォーリーを探せ】

ウォーリーを見つけると子どもたちはうれしそうにスタンプを押してもらっていました。



参加した皆さんと一緒に

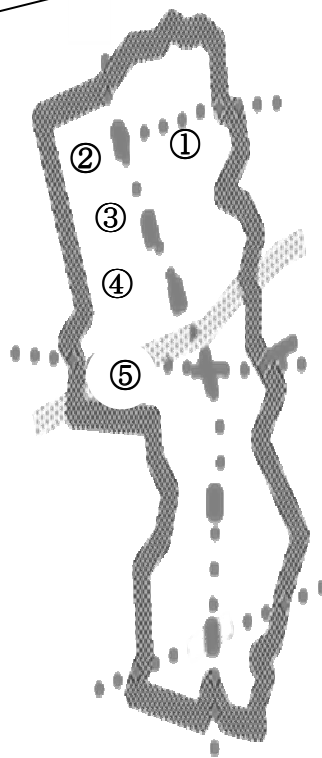
ボランティアに参加した中学生の声

- ・「ウォーリーを探せ」の衣装作りが大変だった。アイデアを出してみんなで楽しんで準備した。
- ・3年間同じコーナーを担当した。もっとやりたかった。高校生になっても続けられるならやりたい。
- ・限られた人数でやらなくてはならなくて大変だった。

大和市青少年指導員の地区活動紹介

今回は、市北部5地区の本年度の活動を紹介します。
中央、南部地区紹介は、47号で掲載予定です。

地図上の①-⑤が
紹介する5地区です



① 下鶴間・つきみ野地区

当地区は、大和市役所の裏側よりつきみ野まで、つきみ野中学校、鶴間中学校、北大和小学校、と13の自治会を抱く地区です。地区の代表的活動の感想を紹介します。

●社協こどもまつり(10月): 始まると同時に雨、諏訪神社の庭に傘の花が咲く、その中を子どもたちは遊び回る、竹馬、ボウリング、輪投げ、バルーンと、大人たちもずぶぬれだ、早めにカレーを出して終わりとした、残念、来年は青空の下で逢いたいね。

●ふれあい広場(11月): 泣き出しそうな空と寒さの中、青少年指導員のテントの中には笑い声、寒さでじっと立ってられず、餅を焼きながら踊りだしたので、それを見たお客さんも笑顔、そんな中、鶴間中学校のボランティアの子どもたちが手伝ってくれている姿が各所で見られ、心が和む、感謝です。参加者は約1500名でした。



② 中央林間地区

中央林間地区は主に緑野小学校、中央林間小学校の学区内で、地域の子もたちが楽しくふれあうような催しを企画し、取り組んでいます。

10月に中央林間小学校で行われた中央林間フェスタでは当地区初の試みとして「自作」のしゃぼん液を使った「しゃぼん玉遊び」を行いました。前日に洗濯糊や洗剤、グリセリンなどを調合して準備しました。ちょっと美味しそうと思ったのは内緒です。当日は大量の大きなしゃぼん玉が空を舞い、子どもたちも大変喜んでいました。

これからも「和」を大切にする楽しい企画でたくさんの笑顔を作っていきたいと考えています。



③ 南林間地区

当地区の活動として、企画している2つを紹介します。親子や友だちと楽しく参加できる『わいわい遊ぼう会』、『夏休み親子映画会』です。

わいわい遊ぼう会では毎回、企画する私たちもワクワクするような楽しい催しものを用意して参加者を待っています。6月に実施した際は、リボンストラップと平面キューブ作りに挑戦しました。ステキに出来上がったストラップをお母さんにプレゼントしたい…と持ち帰る子も沢山いました。2月には、竹に巻きつけたワイルドなパンと針金での知恵の輪作りです。

毎年行われる映画会では夏の夜空の下、小学校の校舎の壁が巨大なスクリーンに変身!! 涼しい夜風を感じながらの映画鑑賞は夏休みの思い出となっていることでしょう。

その他、ふれあい広場、地域の体育祭、コミセン祭り・クリスマス会など、さまざまな行事を通して地域との交流を深めています。

わいわい遊ぼう会



夏休み親子映画会





④ 鶴間地区

当地区は、地域の子どもや親子でふれあいができる行事を中心に、自治会・子ども会・地区社協・コミセン（児童館）などの団体と共同で各種の活動をしています。

代表例ですが、毎年夏休みに「みんなで泊りキャンプ」を行っています。平成23年は神奈川県立愛川ふれあいの村、平成24年は横浜市こども自然公園青少年野外センターに行きました。

火起こし体験、飯ごうでの炊飯、森の素材でのネイチャーゲーム、キャンドル（キャンプ）ファイヤーなどを行いました。子どもたちには普段味わえない貴重な体験で、「楽しかった、また参加したい」などの感想をいただきました。今後も継続していきたいと思っています。



⑤ 上草柳地区

1月14日（祝）、毎年恒例となっている泉の森での「ふれあいどんど焼き」が、朝から降り始めた雨が雪に変わるあいにくの天候により中止となりました。本来ならば正月の風物詩として定着している行事で、当地区青少年指導員が中心となり、前日から薪などを準備し、当日は家庭から持ち込まれるものを仕分け、安全に行えるよう活動しています。

また、地元自治会や子ども会などにより、団子やお汁粉が無料で配られたり、泉の森スタンプラリーが行われたり、はやし連による獅子舞なども披露されたりと、子どもからお年寄りまで大いに盛り上がる行事です。

「どんど焼き」では、お正月に使われた門松、しめ縄などの飾りや、書初めなどを持ち寄って焚（た）き、団子を焼いて食べます。「どんど焼きの火で焼かれたものには、浄化作用があり、厄除けの効果がある」といわれています。

今年で21回目となる「ふれあいどんど焼き」は、残念ながら2度目の中止となりましたが、次回は開催できることを祈っています。



<細心の注意で包丁の持ち方指導>



<食事後に皆で歌の集い>



第40回大和市青少年健全育成大会

平成24年11月25日（日）、保健福祉センターにおいて、第40回大和市青少年健全育成大会が開催され、青少年育成活動に対し積極的な活動を続けた方として13名の青少年指導員が「青少年育成活動推進者」表彰を受けました。

《表彰された方々》

荻窪 雅郎（下鶴間・つきみ野）、入野 多加子（南林間）、高橋 宏幸（南林間）、
志田 みゆき（南林間）、橋本 正彦（鶴間）、福本 隆史（上草柳）、井上 均（上草柳）、
根岸 秀雄（深見）、黒田 則子（桜ヶ丘）、飯塚 利一（上福田）、
本間 実（上福田）、川又 清嗣（下福田）、太田 幸雄（下福田）



“あなたのその行為「いじめ」です”

いじめには、被害者、直接の加害者、はやし立てる者、傍観(見ているだけの)者が存在します。以前はその他に、いじめを批判する者がいたものですが、最近は少なくなってしまったのでしょうか。かつて「弱い者いじめ」は恥すべきことだと言われましたが、今やそんな「良識」はないのでしょうか。



直接の加害者には心に強い不安があるのかもしれませんが。また傍観者などは、「やめなよ」と言うことで次の標的になることを恐れているのかもしれませんが。

いじめていることに心当たりのある人、あなたの不安は何ですか。強い自分を確認してうっぴんは晴れますか。おそらく晴れないから繰り返し「加害行為」をするのではないですか。もしかしたら家庭、学校などの人間関係で悩んでいませんか。いずれエスカレートして相手に何か起これば、あなたの立場は逆転し、批難にさらされるでしょう。一度、信頼する人、学校の先生、スクールカウンセラー、電話カウンセラーなどと話すことをすすめます。不安も軽減できるかもしれません。

はやし立てけしかける人も同罪です。自分たちを客観的に見て、自分の頭で考えましょう。みんな一人ひとり、家庭や地域、社会とつながっている、大切な人です。みんなでお互いの良いところを伸ばしあう関係を作りたいものです。

○大和市いじめ110番
☎0120-874-255
(月～金 8時半～17時)
○文科省24時間いじめ相談
☎0570-0-78310
○チャイルドライン支援センター
☎0120-99-7777
(月～土 16時～21時)

大和市青少年指導員連絡協議会会長の鈴木勝雄から大人の皆さんへのメッセージをお届けします。

「地域にはかつて『お節介おじさん/おばさん』がよくいたものです。地域の子どもの様子に関心を持ち、何かあれば一声かけ、話を聞いてみてください。『ななめの関係』的な人の介在が良い変化をもたらすかもしれません。」



“これからも地域のふれあいを大切に”

～ふれあい広場◆未来を担う子どもたちのために～



ふれあい広場は、大和市民の親睦を深めるために、昭和58年に始まり、現在、市内の12地区+3小学校区で開催されています。中には本年度で30回を重ねた地域もあります。今年度のふれあい広場推進委員会委員長でもある鈴木青少年指導員連絡協議会会長に話を聞きました。

広報部員：これまでを振り返って感じられること・・・

鈴木会長：30年にわたり長く開催されていますが、マンネリ化せず、大勢の市民の方々に楽しんでいただいていると思います。その時代を背景に、より良く変えてきているからだと思います。

広報部員：現状はいかがでしょうか・・・

鈴木会長：小中学校の全面的な協力も得て、地域の中で毎年開催場所を変えるなど、広く根を張る工夫もされています。また、数多くの団体が関わり、未来を担う子どもたちの育成にも大いに役立っています。

広報部員：今後さらに良くするために期待することは・・・

鈴木会長：これまでもそうでしたが、時代の変化に合わせて、より良く変わり続けて欲しいですね。新しい団体にも参加していただき、地域のバックアップをさらに深めることが、「ふれあい」の趣旨にかなうことだと思います。

わかくさクイズ

※答えは()の中からえらんでね。

1. 第17回青少年センターまつりに参加した団体の数はいくつですか？

答え(A:10 B:12 C:14)

2. 青少年センターまつりで中学生ボランティアがゲームコーナーで行った催し物は何ですか？

答え(A:コント B:手品 C:おばけやしき)

3. 青少年育成活動推進者として表彰された青少年指導員は何人ですか？

答え(A:9人 B:11人 C:13人)

●クイズの答え、“わかくさ”を読んだ感想、氏名、住所、年齢を書いてはがき又はFAXで送ってください。

●正解者の中から、抽選で40名様に図書カードを進呈します。(※切：4月30日の消印有効)

なお、当選者の発表は賞品の発送を持って代えさせていただきます。

〒242-0021 大和市中央1-5-14 こども・青少年課 FAX:046-261-4900

